

医師及びメディカルスタッフのための 第21回循環器セミナーのご案内

メインテーマ「心臓弁膜症と近未来の再生医療」

循環器セミナーも今年で21回目を迎えます。今年のテーマは「心臓弁膜症」です。一緒に弁膜症の”いろは”を勉強しましょう。特別講演は大阪大学の澤 芳樹先生にお越しいただき、弁膜症の治療に対する最近のピックからiPS細胞を用いた心筋シートのお話までしていただく予定です。奮ってご参加ください。

- ◆日時 2018年11月18日(日) 10:30~15:10 (受付10:00~)
- ◆会場 神奈川県保険医協会 (2階会議室)
- ◆参加費 医師4,000円、コメディカル3,000円(資料代・弁当代込み)※振込み後のキャンセル不可
- ◆定員 120名(定員となり次第、申し込みを締め切らせていただきます)
- ◆共催 神奈川県保険医協会/第一三共株式会社 ※申込み方法は2枚目をご覧ください。

◆◇プログラム◇◆

<10:30~>

講演①「心臓弁膜症(症状、鑑別等)に関して」
講師 医)博愛医院 院長 陳 勁一氏

講演②「弁膜症と聴診」
講師 横浜相鉄ビル内科医院 院長 森 壽生氏

講演③「心臓弁膜症
診断と治療方針のための検査」
講師 やまもとクリニック 院長 山本 晴章氏

<11:50~>

ランチオンセミナー

<12:50~>

講演④「超音波心臓検査(心エコー検査/UCG)」
講師 協同ふじさきクリニック 内科 桑島 政臣氏

講演⑤「弁膜症の治療」
講師 章平クリニック 院長 湯浅 章平氏

特別講演「重症心不全のFuturability」
講師 大阪大学大学院 医学系研究科
心臓血管外科 教授 澤 芳樹氏

《神奈川県保険医協会 会場地図》



【取得単位】
日医生涯教育認定講座 CC: 申請予定

【協賛メーカー】 依頼中

【後援団体】 依頼中

第21回循環器セミナー参加申込書

FAX 045-313-2113

ご連絡先ご住所 【(〒 -)】

施設名 TEL 【()】 FAX 【()】

参加者名(フリガナ) ご職業【()】

◎複数ご参加の場合は、全員のお名前・フリガナ・ご職業をご記入下さい。 ■お申込み後、参加費をお振込下さい。

◆◇お申込み方法◇◆

★必ず事前にFAX等でお申し込み下さい。その後、参加費を11/12(月)までに下記口座へお振込下さい。

(お振込が期日までに間に合わない場合は、事務局へお問い合わせ下さい)また、その際、通信欄に「参加者氏名(複数の場合は全員分)」と「第21回循環器セミナー参加費」とお書き下さい。資料は当日配布です。

※当方の入金確認に数日かかるため、セミナー当日に念のため「振込控え」をご持参ください。

<振込先>

郵便局口座名: 神奈川県保険医協会

口座番号: 00260-2-2220

～セミナーへお申し込みをされた方へ～

※お申し込みが受け付けられた旨の連絡はしておりません。(協会より別段連絡が無い限り受け付けられておりますので、参加費を早めにお振込みください)

<連絡先>

神奈川県保険医協会 研究部担当 事務局

電話 045-313-2111

FAX 045-313-2113

プログラム<講演要旨>

講演①『心臓弁膜症(症状、鑑別等)に関して』

どんな症状が起こりうるのか、どんなことに注意するのか、心臓弁膜症を疑う症状とは、その鑑別診断は何か?疾患を見過ごさないコツとは?平易に解説したいと思います。

講演②『弁膜症と聴診』

聴診器にはダブル・チューブとシングル・チューブの2種類があるが、現在はダブル・チューブの聴診器を見たことはない。それぞれの性能については古来沢山の研究がある。現在使用されているシングル・チューブの聴診器の患者に当てる部分をチェスト・ピースというが、ここには膜面とベルがついていて、チューブが結合している金属管を回転させることで、膜面とベルの切り替えができる。膜面は痩せた患者でも聴診することが可能であるのに対して、ベルは痩せて肋骨が浮き出ている患者では用いることができない。ただ、膜面は低周波成分をカットしてしまい、本来の心音から低周波成分を除いた心音を聴取していることになる。僧房弁狭窄の低周波成分の心雑音は聴取できず、診断を誤ってしまう。ベルは全ての周波成分を聴取できるが、扱い方にコツがある。今回のセミナーでは聴診器の扱い方と代表的な大動脈弁狭窄と閉鎖不全、そして僧房弁狭窄と閉鎖不全の心雑音について解説したいと思います。

講演③『心臓弁膜症 診断と治療方針のための検査』

心臓弁膜症の診断には前述の聴診やエコーなどの検査の他に、胸部X線写真や心電図が有用です。また一般内科の先生方もNT-proBNPやBNP等のバイオマーカーを経時的に評価されていることが多いと思います。

講演④『超音波心臓検査(心エコー検査/UCG)』

心臓弁膜症の診断は①弁の異常を音で知る(聴診器)、②心臓の肥大や拡張を電気的な異常として知る(心電図)、③心臓の形と大きさを知る(レントゲン写真)等で絞り込みますが最終診断はUCGで行います。弁の機能障害(閉鎖不全・狭窄)や石灰化の程度を直接知ることができ、心房・心室の大きさや血栓の有無、収縮能・拡張能の評価、他の心疾患の合併の有無も診断できます。手術適応の判断にもUCGは欠かせない検査です。

講演⑤『弁膜症の治療』

弁膜症の治療は現在でも外科手術が基本になります。弁膜症の外科手術やその適応についてお話したいと思います。また日常生活で留意すべきことについてもお話いたします。

特別講演『重症心不全のFuturability』

循環器医療の進歩にかかわらず、重症心不全に対する治療体系は未だ確立されていない。我々はiPS細胞由来心筋細胞を用いた再生医療法の開発も進めており、世界に先駆けて心筋再生治療を実現する日もそう遠くない。